行政視察

民生常任委員会

9月26日～27日

視察地　徳島県勝浦郡上勝町

高齢者が、元気で生き甲斐のある老後を過ごすための「高齢者対策」について研修した。

上勝町からは（株）いろどりの副社長 横石氏が、上勝町の現状及び取組みについて説明をした。

＊上勝町の現状

・人口2,086人、面積109.68km²内85.6%山林。
・四国の中で最も人口が少ない。
・高齢者　983人、高齢化率47.15%。
・地域資源活用の第三セクター会社が５社。
・寝たきりの人が少ない。
・一人当たりの医療費が市内と同じぐらい低い。
・ゴミの32種類に分別実施し、2020年までにゴミをゼロにする運動に着手。
・構造改革特区を利用し「有償ボランティア輸送」の実施。
・間伐材で木製バイオマスを活用した温泉施設。

＊「彩（いろどり）」の取り組み事業

紅葉、柿、南天等の葉、梅、桜、桃の花等を料理のつま物の材料に商品化。販売額２億５千万円程度。事業の特徴は次の通り。

・高齢者、女性が働く主体者（製品が軽い）。
・平均年齢70歳、190名が参加し活躍。
・高齢者でも扱える専用パソコンの開発。
・農家・農協・彩の三者が一体で運営。

この事業により、高齢者・女性の生き甲斐を得ることが出来、生活習慣病の防止で健康増進に繋がり、医療費抑制という効果を発生。

総務文教常任委員会

9月27日～28日

視察地　愛媛県南宇和郡愛南町教育委員会

本町で今まさに課題である「学校の統廃合」問題について、合併日も同じ、１村４町と合併規模も同程度であり、時を同じくして統廃合問題に取り組んでいるとのことで、お互いの現状や方法について討論した。

＊愛南町の特徴・取り組み

・高知県との組合形式での学校を保有。
・教育委員会とは別に検討委員会を条例にて設置、検討結果の答申案を議会に提出。
・校舎の耐震基準は29校中３校が基準以下。
・統合後の目標　小学校　全校で60名
　　中学校　１学年20名

＊本町との類似点

・少子高齢化・財政面という統合理由。
　（高齢化率44.8%は本町と同じ）
・統合後はスクールバスが必要という地理的条件。

時間が足らなくなるほどの討論で統廃合の困難さを再認識する研修であった。

翌日は、内子町のレトロ街並や、「フレッシュパークからり」（産地直売型道の駅第１号）による町おこしを視察し、有意義な研修であった。

要望書等の報告

内容の概要	提出者	備考
公立保育所の情報開示要望書	久美保育所保護者	議員配布
平成19年度予算での商工会助成要望書	県商工会連合会長	〃
日豪EPAに関する要望	山口大島農協組合長	〃

編集後記

引き続き頑張ります！

新春の門出にあたり、心よりお慶び申し上げます。この度２年の任期を満了致しました広報委員ですが、再任と成りました。委員一同広報の意義を再認識し、一層内容の充実をはかり、かつ読みやすく的確にをモットーに住民の皆様と議会のパイプ役として活動してまいります。研修会は積極的に参加し、広報クリニックと題して専門家の指導を頂いています。これ迄の経験を生かし、さらに充実した住民から関心を持たれ愛される広報づくりに専念してまいります。皆様の御意見をお寄せください。

委員長　尾元　武　　委員　伊藤秀行
副委員長　魚谷洋一　　委員　木村　潔
委員　平野和生　　委員　小田貞利

周防大島町ホームページ　http：//www.town.suo-oshima.lg.jp
なお、各図書館へは議事録を備えています。